



東小学校だより

木 洩 れ 陽

令和4年3月3日 No.12

文責 校長 濱砂一徹

平成3年度を締めくくる3月を迎えました。本年度、子どもたちが学校に通う日数は二十日を切り、いよいよゴールは目前です。

さて、今回の学校便りでは新しく掲げる学校教育目標についてふれたいと思います。従来の学校教育目標「豊かな心を持ち、自ら学び、最後までやりぬく子どもの育成」は平成9（1997）年に設定されたものでした。それから四半世紀が過ぎ、学校を取り巻く環境も大きく変わりました。子どもたちは情報化、グローバル化の波を否応なく受けることになり、人工知能が急激な社会変革をもたらす予測困難な時代を生き抜く必要があります。そこで、本年度中に新しい学校教育目標を策定し、スムーズに次年度以降の学校運営に移行する準備を進めてきました。この“木洩れ陽”を発行する機会を生かしまして、保護者の皆様に新しい学校教育目標をお伝えします。

【学校教育目標】

自分の考えを、自分なりの表現方法で伝え合い、
納得解を生み出す子どもの育成

学校教育目標を支える3つのキーワード

自立

誠実

希望

- 自立とは：自分でできることは人を頼らずやり抜く普遍的な価値
- 誠実とは：自分も他者も幸福に生活する上で必要とする価値
- 希望とは：予測困難な時代においても明るい未来を希求する価値

令和3年度「木洩れ陽」最終号に寄せて…

これまで月に1号ずつ回を重ね、令和3年度版「木洩れ陽」は今回で最終号となりました。これまで、学校の様子や子どもたちの指導で大切にしてきたことを中心にお知らせしてきました。保護者の皆様にとって、子育ては楽しいことばかりではないと思います。時に悩み、時に迷うこともあることでしょう。しかし、長い目で見ると、子育て期間は怒濤のように過ぎていきます。二度と戻らぬこの子育て期間を、愛おしむ心で過ごされることを願います。

